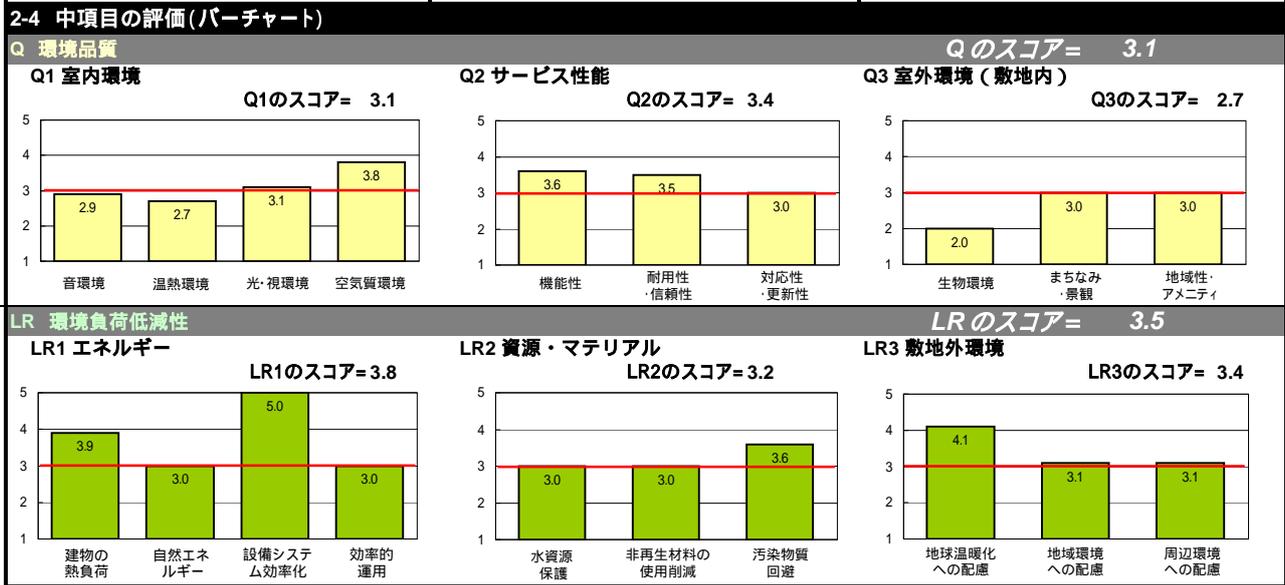
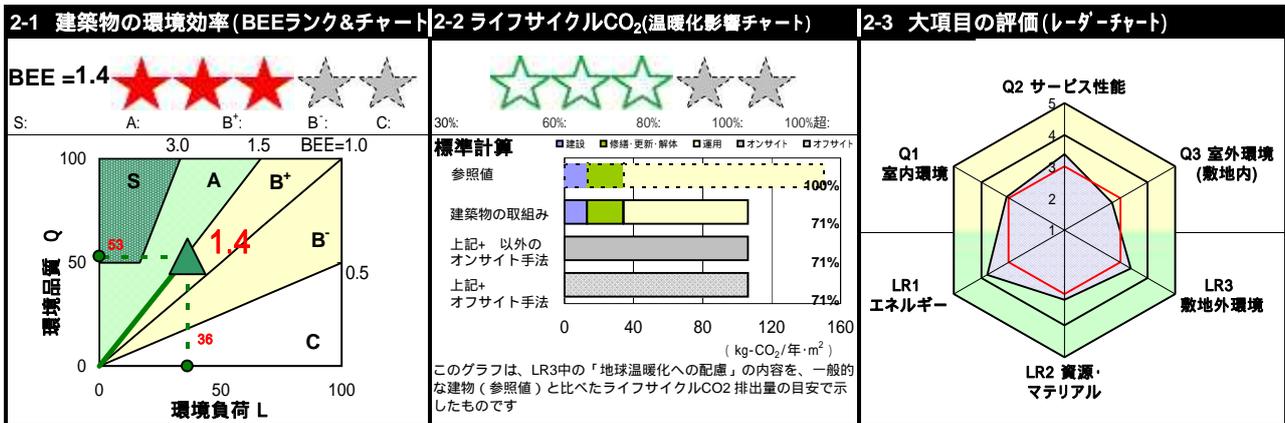


# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桜ヶ丘中央病院移転新築工事	階数	地上7F 地下1F
建設地	神奈川県大和市福田一丁目7番1号	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	470 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年2月 予定	評価の実施日	2011年9月5日
敷地面積	2,916 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社 SORIN設計
建築面積	1,841 m <sup>2</sup>	確認日	2011年9月5日
延床面積	8,606 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社 SORIN設計



3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 病院という機能を重視した設計。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> サッシの遮音等級T-2以上、外壁・屋根・外床に断熱材を使用し、外皮性能を上げている。昼光率を高くし、自然換気を有効に利用している。また、F 建材をほぼ全面的に採用、全館禁煙とするなどの配慮をしている。	<b>Q2 サービス性能</b> 病室の面積を広くとっている。建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。非常用発電設備を備えている。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けているなどの配慮をしている。
<b>LR1 エネルギー</b> バルコニーの設置、二重サッシの採用、断熱材強化による熱負荷の軽減。高効率機器の採用などの配慮をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> O Aフロアを採用し、ノンフロン断熱材を採用するなどの配慮をしている。
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 季節感のある植栽により、良好な景観を形成している。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して低く抑えるなどの配慮をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい